

北九州市初！災害対策に「トイレカー」を導入

～高い機動力と清潔な水洗トイレで、災害時でも「快適×安心」なトイレ環境を～



北九州市では、これまでの大規模災害を踏まえ、災害時でも誰もが安心して快適に利用できるトイレ環境を目指して、初めて「災害用トイレカー」を導入しました。

1 導入目的

災害時に、避難所等に必要なトイレを設置し、衛生的な環境を確保することは、被災者支援の中でも重要な課題となっています。

今回導入した機動力の高い「災害用トイレカー」は、災害現場へ迅速に駆けつけ、清潔な水洗トイレ環境を提供することができるため、本市で災害が発生した際には迅速に避難所へ配備されます。

また、他都市で災害が発生した際には、国の災害対応車両登録制度や個別の自治体等との連携により被災地支援も行う予定です。

さらに、平時には、防災イベントや防災訓練等へ参加するほか、市主催の大規模イベント等にも活用し、災害時のトイレ対策の重要性を発信し、市全体での防災意識向上にも繋がります。

2 車両の特色

これまで本市は、令和8年2月に締結した㈱BBWILLとの協定に基づき、車両の供給を受ける体制を整えてきましたが、今回はそれに加え、災害対応力をさらに強化するため、市として初めてトイレカーを導入しました。

今回導入するトイレカーは、中央の壁で完全に仕切られた2つの独立した個室を備えています。各個室には、水洗の洋式トイレと手洗い場が1基ずつ設置されており、車両左右のドアから出入りする構造になっています。

車両の外装デザインには、本市主催の「アーバンネイチャーフォトコンテスト」にて、市民の皆様から応募のあった写真を採用しました。

北九州市の豊かな自然を象徴する風景を纏うことで、アーバンネイチャー北九州としてのメッセージを発信するとともに、災害時においても被災者に寄り添う車両となることを目指します。

3 車両のお披露目について

6月15日（月）開催の「曽根干潟クリーン作戦」の清掃参加者（小学生等）用のトイレとして初出動します。

